

福井県新型コロナウイルス等対策 行動計画の改定について



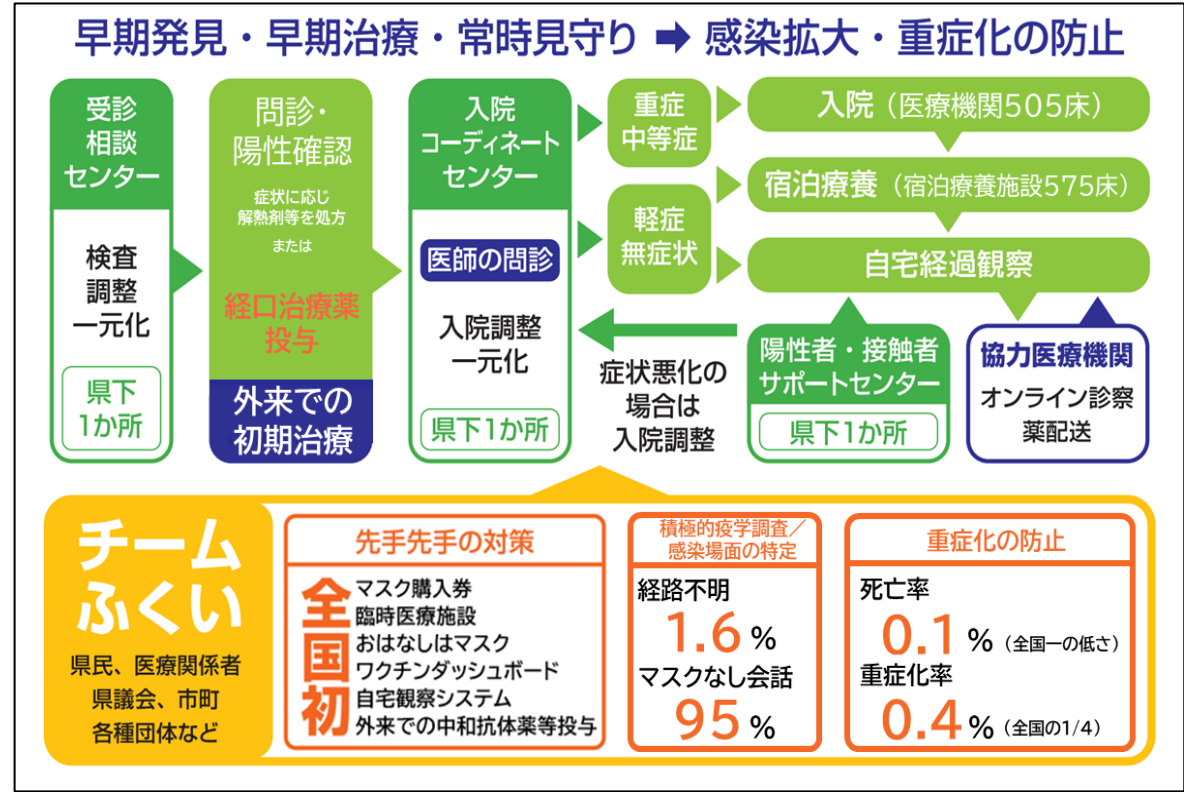
福井県 県民交流サポーター
はぴりゅう

福井県知事 杉本 達治

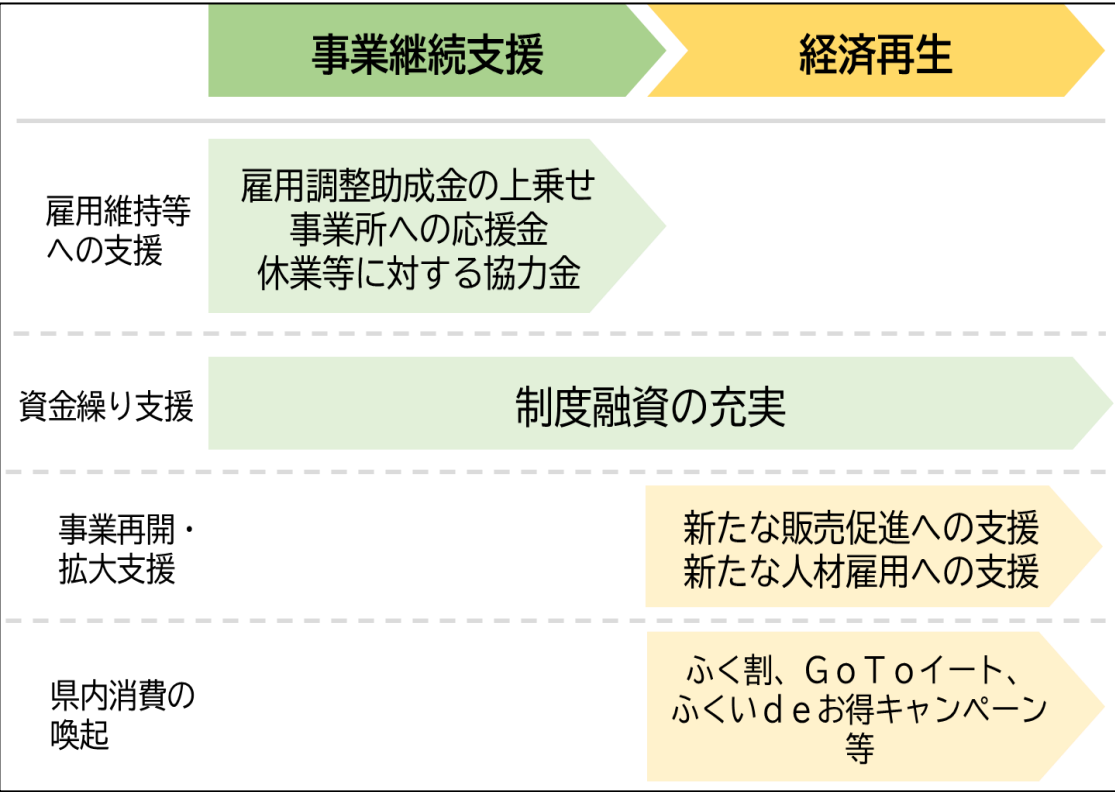
【計画改定】 政府行動計画の抜本改定に伴う県計画の改定（平成25年策定）

【新型コロナ時の対応】 感染拡大防止と社会経済活動のバランスを考慮し、感染状況に応じた対応

＜医療提供体制＞



＜社会経済活動への支援＞



【目指すべき方向性】

- ・ 感染症危機に対応できる平時からの体制整備
- ・ 感染状況に応じて機動的に対策を切り替え、感染拡大防止と社会経済活動を両立

感染拡大防止（医療提供体制）

【新型コロナ時】

- 感染者の増加に対応して、医療WG等でその都度協議し、入院や外来の体制を確保

【今後の新たな感染症】

平時

医療機関との協定によりコロナ時の最大の体制を確保

有事

感染拡大のフェーズに応じて、段階的に病床数を増減

▶ 早期発見・早期治療による
重症化防止・医療ひっ迫の回避



会話時のマスク着用徹底を
呼び掛けるキャッチコピー
「おはなしはマスク」

社会経済活動（まん延防止と事業者支援）

【新型コロナ時】

- 医療ひっ迫を回避し、地域経済を止めずに対応
- 経済団体等との緊密な意見交換
- 地方創生臨時交付金を活用した県独自の支援
（雇用維持事業主応援金、消費喚起「ふく割」
「ふくいdeお得キャンペーン」等）

【今後の新たな感染症】

休業、時短、外出自粛等の対策を実効的なものとするため
には、県民や事業者の協力が不可欠

▶ 地方の実情に応じた対策を実行するため、
自由度の高い財源の確保が必要

情報発信

感染状況に応じて対策を機動的に切り替えるためには「情報」が重要

福井県感染症情報センター + 国立健康危機管理研究機構（JIHS）

▶ 科学的根拠に基づく、県民への正確でわかりやすい情報発信

